

# いなづま



平成31年1月31日をもって閉店した棒二森屋

撮影：伊東 照勝

## ご挨拶

理事長 玉津 眞史

今年は例年になく雪解けが早く、桜の開花予想も一週間程度早くなりそうです。組合員の皆様におかれましては、日頃組合事業の運営にご協力いただき、誠に感謝いたします。

電気業界はここ数年来、少子高齢化や若者の業種離れにより、新規雇用が難しくなっています。政府は四月に出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部改正により、新たな在留資格制度である「特定技能」が施行されます。人手不足にある建設業界を含めた十四業種に対して、外国人の就労が解禁されます。在留資格「特定技能」は就労ビザであることから、技能実習を経験しなくても、ある程度の日本語能力と知識、経験があることを確かめる試験に合格し雇用契約を結べば、直接海外から受入れる事ができます。近い将来、現在技能実習生を多く受け入れている渡島檜山管内の水産関係業種のように、電気業界でも、外国人労働者の受入が現実味を帯びてきそうです。

「いなづま」は昭和四十三年創刊以来、今回で四四五号の発行となりました。当時の出来事を振り返ると、メキシコオリンピック開幕、川端康成ノーベル文学賞受賞、三億円強奪事件、郵便番号制度実施、日本初超高層霞ヶ関ビルの完成があり、当時は想い出します。また災害では十勝沖地震が発生（M7.9）、太平洋各地に津波をもたらし、函館では函館大学校舎が倒壊しました。災害は忘れたころにやってくると言います。近年全国各地で地震、台風、豪雨による自然災害が頻発しています。常に危機感をもって対応したいものです。今回の「いなづま」発行にあたり、当手を振り返りつつ、過去に携った関係者に感謝いたします。

終わりになりますが、ここ数年組合においては、重大な事故は発生しておりませんが、工事配線の単純ミスや接地不良、引込線工事では通信線との離隔不足などのしゅん工調査の不適合事案が少なからず発生しています。これからも基本に忠実に品質向上を念頭に、工事に携っていただきたいと思います。

役員会だより

第五回役員会

三十・二十五

一、経過報告

(株)乙部電気工業代表者ご母堂逝去

(株)外山電工代表者逝去

二、貸付報告・無し

三、各支部・各委員会報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 「いなづま」第一四四号の発行について

(2) 平成三十年度上期末決算及び監査について

(3) 平成二十九年度住友団体共済配当金の還付について

(4) 組合新年会・永年組員・永年勤続者表彰式について

五、事業委員会事項

(1) 港まつり決算報告について

(2) 第一種電気工事士試験(筆記)準備講習会の開催結果について

(3) イルミネーション取付工事の実施について

(4) 第一種電気工事士試験(技能)準備講習会の開催について

六、その他

(1) 平成三十一年電気記念日傘寿功労者表彰の推薦について

(2) 北電所有木柱の直接昇降の廃止について

第六回役員会

三十・十二・七

一、経過報告・無し

二、貸付報告

一件五十万円

三、各支部・各委員会報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

組合行事

10月16日 検満業者打合せ会議

18日 第一種電気工事士定期講習(フォーポイントバイシエラトン函館Ⅱ一八名受講)

19日 正副理事長・事務局長会議

25日 第五回役員会

30日 第六回ホームページ担当特別委員会

31日 中間監査

11月1日 検満業者打合せ会議

2日 道工業組合上期末監査に大倉副理事長出席(道電気会館)

5日 道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席(道電気会館)

7日 イルミネーション取付工事(八幡坂・二十間坂・明治館前通り・開港通)

16日 東部支部会議

23日 渡島支部会議

25日 第一種電気工事士試験(技能)受験準備講習会

28日 (ポリテクセンターⅡ九名)

29日 西部支部会議

30日 北電・組合検満工事合同安全パトロール(北電四名・組合二名・施工会社五社)

12月1日 第三回電気工事技能競技全国大会(東京・両国技館Ⅱ玉津理事長他十六名出席)

3日 第3回全国青年部員大会(東京都)

7日 検満業者打合せ会議

12日 第六回役員会

13日 北部支部会議

27日 北電・道工業組合本部連絡協議会に玉津理事長出席(道電気会館)

1月4日 検満業者打合せ会議

9日 函館市新年交礼会

27日 東部支部新年会(大黒屋旅館)

31日 東部支部新年会(大黒屋旅館)

1月9日 東部支部新年会(大黒屋旅館)

1月27日 東部支部新年会(大黒屋旅館)

|      |  |
|------|--|
| 11日  | 電気関係賀詞交歓会（札幌）  |
| 16日  | 検満業者打合せ会議  |
| 17日  | 八雲支部安全祈願祭・新年会  |
| 25日  | 平成三十年度永年組合員・永年勤続者表彰<br>及び平成三十一年新年会（花びしホテルⅡ<br>出席者一二九名） |
| 31日  | 検満業者打合せ会議  |
| 2月2日 | 渡島支部会議・新年会（花びしホテル）                                     |
| 5日   | 主任電気工事士研修会（ホテル函館ロイヤ<br>ルⅡ一六八名出席）                       |
| 8日   | 検満業者打合せ会議  |
| 15日  | 第七回役員会   |
| 全日   | 江差支部新年会（大黒屋旅館）   |
| 16日  | 道工業組合青年部連合会第八回会員大会                                     |
| 全日   | 道工業組合青年部連合会三十周年記念式<br>典・祝賀会（札幌プリンスホテル）                 |
| 19日  | 北電・工事組合連絡協議会（組合会議室Ⅱ<br>北電五名・組合七名）                      |
| 全日   | 正副理事長・事務局長会議   |
| 23日  | 福島支部新年会（花びしホテル）  |
| 27日  | 電設業務研修会（組合三階会議室Ⅱ一二五<br>名出席）                            |
| 28日  | 検満業者打合せ会議  |
| 3月1日 | いなづま編集会議   |
| 5日   | 人材育成研究会  |
| 6日   | 中央会道南支部役員会に玉津理事長出席<br>（函館国際ホテル）                        |
| 全日   | 北部支部会議   |
| 7日   | 東部支部会議   |
| 8日   | 函館高等技術専門学院後援会理事会・修了<br>式・後援会総会に玉津理事長出席（函館高<br>等技術専門学院） |
| 13日  | 道工業組合事務局長会議に奥村事務局長出<br>席（道電気会館）                        |
| 19日  | 渡島支部会議   |

# 就任ご挨拶



北海道電力㈱  
送配電カンパニー  
函館支店長  
櫻原 一朗

昨年四月一日付で函館支店に赴任し、早いもので一年が経過しようとしています。

本来でありましたら、もっと早くご挨拶をしなければならなかったのですが、皆さまご承知の通り、地震による大規模発電発生のため、この様に遅くなりましたことにつきまして、お詫び申し上げます。

まずは、昨年九月六日に発生いたしました、北海道胆振東部地震に伴う大規模停電がありますが、例え、地震が起因とはいえ、離島を除く北海道全域が停電となり、皆様方に大変なご不便とご迷惑をお掛けしましたことにつきまして、改めて深くお詫び申し上げます。また、皆様方におかれましては、節電の協力を初めとする多大なご支援ご協力を頂きましたことに深く感謝申し上げます。

この停電を受け、国の認可法人であります「電力広域的運営推進機関」により発生原因およびその後の復旧作業手順について検証が行われました。その結果、今回の停電は苦東厚真発電所全機の電源脱落に加え、送電線事故等を含む複合的な要因が重なって起きたものであり、設備形成上について不適切であったとはいえないと取りまとめられました。また、停電復旧に向けた取組み等についても、概ね妥当という評価をいただきました。しかしながら、当社は大規模停電を招いた事業者として、自ら発電発生後の対応等を検証し、再発防止に向けた取組みを進めていくために、外部の有識者に参加していただき、社内の検証委員会を

設置いたしました。そして、昨年末に今後取り組むべき「情報発信」「関係機関との情報連携」などの課題と具体的な対策をアクションプランとして取り纏めさせていただきました。当社は、今後、アクションプランをしっかりと実践してまいり、新たな課題や問題点が発生した際には、必要な対策を検討・実施の上、災害に強い電力供給体制を整備し、迅速かつ効果的な情報発信に努めてまいりたいと考えております。

また、至近の出来事といたしまして、当社初となる LNG を燃料とした石狩湾新港発電所一号機（定格出力五十六・九四万kW）が二月二十七日に営業運転を開始いたしました。この発電所は、発電効率が高く環境特性にも優れており、燃料種別の多様化や電源の分散化にも寄与しております。

この他、三月下旬より北海道と本州を結んでいる北本連系設備を、既設の六十万kWから、当社では新たなルートにおいて三十万kWを新設し、合計九十万kWに増強します。

これら、石狩湾新港発電所一号機および北本連系設備の増強により、電力の安定供給をより確実なものにして行きたいと考えております。

昨年は台風二十一号などの影響で道南地域もかなりの被害が出ましたが、皆様方のご尽力により、早期の設備復旧が出来ましたことに感謝申し上げます。

電気を安定的に送り届けるためには、函館地方電気工事協同組合の皆様方との協力関係が必要不可欠でありますので、今後とも強いパートナーシップを継続させていただければと思います。

最後になりましたが、組合員皆様方のご健康と益々のご発展を心よりご祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。

三社、五十年  
北弘電社ほか  
入七十年で(株)  
移り、組合加  
勤続者表彰に  
組員、永年  
続いて永年

平成三十年度永年組合員・永年勤続者表彰式並びに平成三十一年新年会が花びしホテルにおいて工藤函館市長ほか来賓二十九名を迎え、組合員、青年部員など一二十九名が出席して開催された。  
最初に関係物故者に対して黙祷をささげた後、玉津理事長より『九月五日の台風二十一号と九月六日の北海道胆振東部地震によるブラックアウトが発生したことで電気を届ける使命の大切さをより一層痛感した。また、後継者不足、技術者、人材不足という大きな問題や電力小売り自由化、翌年に迫った発送電の法的分離などによる競争の激化する時代に、組合員の相互理解のものと時代のニーズを的確にとらえ、変化に対応出来る組織作りに努め、誠実、公正、公平な運営を進める』と挨拶。  
続いて永年組合員、永年勤続者表彰に移り、組合加入七十年で(株)北弘電社ほか三社、五十年



平成三十年度 永年組合員 永年勤続者  
平成三十二年  
新表彰式

会のうちに終宴となつた。

で小澤電設工事(株)ほか五社、四十年で(有)澤井電気ほか九社、三十年で(有)五稜郭カスガほか五社が表彰された。永年勤続者では、勤続三十年以上で樺電工業(株)伊藤吉美氏ほか一名、二十五年以上で三名、十五年以上で二名、十年以上で四名が表彰され、玉津理事長より表彰状と記念品が贈られた。表彰状授与の後、受賞者を代表し、日東電気工事(株)三浦弥氏より謝辞が述べられた。  
来賓の祝辞では工藤函館市長、北海道電力(株)送配電カンパニー函館支店榎原一朗支店長よりお祝いのご言葉を頂戴し、表彰式は閉会となった。  
引き続きの新年会では、井田範行函館市議会議員の発声で祝杯をあげ、祝宴へと進み、組合役員紹介、組合青年部の紹介が行われ、アトラクションでは、花かるた アンリミテッドによる声楽にて場を大いに盛り上げ、来賓、組合員、青年部員が親しく懇親するなか大倉副理事長が感謝と御礼を述べて乾杯し、盛会のうちに終宴となつた。



|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 平成三十年度<br>永年組合員・永年勤続者表彰者名簿(敬称略) |  |
| (永年組合員)                         |  |
| 組合加入七十年                         | 事業所名<br>(株)北弘電社<br>樺電工業(株)   |
| 組合加入五十年                         | 事業所名<br>(株)深田電気<br>大鎌電気(株)   |
| 組合加入四十年                         | 事業所名<br>(株)加賀電気<br>昭和電設工業(有)<br>山内工業(株)                                |
| 組合加入三十年                         | 事業所名<br>(株)三立電気<br>(株)富岡電気<br>(株)富岡電気<br>(株)光進電気<br>(株)里見電気<br>(株)三光電気 |
| 組合加入二十年                         | 事業所名<br>(株)スナハラ電気<br>(株)中電設<br>(株)依田電気                                 |
| 勤続三十年以上                         | 氏名<br>伊藤 吉美<br>原田 修二   |
| 勤続二十五年以上                        | 氏名<br>三浦 弥<br>山 広<br>下 鳥   |
| 勤続十五年以上                         | 氏名<br>西村 規寿<br>武井 政美   |
| 勤続十年以上                          | 氏名<br>工藤 良太<br>品田 通<br>川村 ちあき<br>坂口 孝寿                                 |

# はこだて 冬フェスティバル イルミネーション

今年も西部地区を明るく照らしたはこだて冬フェスティバルイルミネーションが三月十三日をもって終了致しました。寒い中ご協力頂きました組合員並びに社員の皆様には誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。北海道ふっこう割が三月末まで延長されたことから、二末日まで、点灯していた例年と比べ若干変則的な日程となっておりますが、既にご案内申し上げております撤去工事へのご協力も何卒宜しくお願い致します。この事業は当組合創立五十周年記念事業として八幡坂にイルミネーションを敷設したのが始まりで、今年で二十二回目を迎えました。



取付工事は十一月五日から二十二日の延べ十三日間に渡って行われ、八幡坂・二十間坂・明治館前通り・開港通り・旧イギリス領事館インフォメーションツリーへとイルミネーションを施しました。今年も暖冬の影響から降雪や降雨による悪天候での工事の遅延はなく、暖かい気温の中天候にも恵まれ、とても良い環境で作業することが出来ました。工期においても延べ十三日で昨年同様の日数で終える事が出来ました。ただ、取付工事初日は高所作業車三台で終わりの見通しが全くつかず、とても苦しいものがありました。人員不足もそうですがやはり高所作業車の数が足りないというのが毎年抱える問題でもあります。イルミネーション取付工事自体は難しいものではありません、人員と高所作業車さえ集まれば一週間程度で終えることが可能であり、また、それくらい工期で終えるのが理想的だと考えておりますので、改めて工事へのご協力をお願い致します。



## 平成三十一年 主任電気工事士研修会

平成三十一年主任電気工事士研修会が二月五日、ホテル函館ロイヤルを会場として開催されました。

この研修会は、北海道電気工業業工業組合並びに全道各単協が主催し、電気関連の各団体に協力を依頼して実施されるもので、事業所の主任電気工事士並びに電気工事士の資質の向上を目的として隔年で開催され、今回は一六八名が受講しました。

なお、後日受講者に発行された受講証は、電気工業法立入検査の際に提示を求められる事がありますので大切に保管してください。

主催 北海道電気工業業工業組合  
函館地方電気工事協同組合

講師

北海道産業保安監督部電力安全課

課長 仲条 寛氏

渡島総合振興局産業振興部商工労働観光課

主任 吉田 幸治氏

北海道電力(株)送配電カンパニー函館支店 配電部

総括主任 上野 誠氏

配電グループ

(二財)北海道電気保安協会函館支部  
副支部長 石川 成登氏



# 北電・組合検満計測器取替工事 合同安全パトロール

平成三十年十一月二十九日に北海道電力(株)送配電カ  
ンパニー函館支店配電グループと工事組合による低圧  
検満計測器取替工事合同安全パトロールが実施されま  
した。北電より四名、組合から二名で検満工事会社五  
社の現場をパトロールしました。

今年度は天候に恵まれ多少の寒さはあったものの十一  
月下旬にもかかわらず暖冬の影響か積雪はなく、とて  
も良い環境の中パトロールすることが出来ました。  
各社取り替える計器は様々で電灯計器や融雪電力計  
器、交流器付き計器の箇所もありました。融雪電力用  
のスマートメーターは今年度から新たに運用開始され  
たばかりのもので、専用のケーブルを使ってマグネッ  
トスイッチ等から外部電源を取得するといった手間の  
かかるものですが運用開始より半年以上経っていた  
為、非常に手際よく慣れた手つきで施工されていました。

各現場パト  
ロールを終え最  
後に組合二階中  
会議室にて総括  
を行いました。  
全体を通してお  
おむね良好だっ  
たのですが、い  
くつか指導事項  
として挙げられ  
た点がありまし  
た。狭い路地等  
での工事におけ  
る通行人への配  
慮、ハンデー  
ターミナルの取  
り扱い、また一  
部作業において



低圧手袋を取外す場面が見られました。無停電にて計  
器取替作業を終了し計器位置変更の際に外した為感電  
等の恐れは無かったのですが、全ての作業を終えるま  
で着用することでの低圧手袋の着用義務についての  
指導事項も挙げられました。

平成二十八年か  
ら始まった一般家  
庭等に対する電力  
小売り自由化に伴  
う計器取替工事等  
の検満工事会社へ  
の付託件数にも落  
ち着きが見え多少  
の余裕は出来たよ  
うに思われます  
が、油断はせずに  
これからも慎重で  
丁寧な安全作業を  
お願いしたいと思  
います。  
最後になります  
がお忙しい中ご協  
力頂きました皆様  
には厚く御礼申し  
上げます。



## 新加入組合員の紹介

平成三十年加入の組合員を紹介いたします。



越田 恭平  
昭和五十八年一月二十一日生

函館市美原二丁目二十二番二十四号  
電話 〇一三八一四三一五三〇九

推薦人 日興電気(株)・(有)松橋電気  
(加入年月日)平成三十一年二月二十二日

## 組合員の異動

- ◎ 代表者の変更 (新) (旧)
- 一、(株)外山電工
  - 代表取締役 外山 尋久 (旧)
  - 代表取締役 佐藤 宏一 (新)
- 一、昭和電設工業(有)
  - 代表取締役 佐藤 初治 (旧)
  - 代表取締役 佐藤 初治 (新)

## お悔やみ

- 平成三十一年
- 一月二十八日 昭和電設工業(有)代表者 佐藤初治殿ご逝去
- 二月四日 (株)シマデン産業代表者 ご尊父中島勝彦殿ご逝去
- 三月四日 (有)山田電気工業代表者 山田貞義殿ご逝去

## 電設業務研修会

平成三十年電設業務研修会が二月二十七日、組  
合会議室において午前・午後の二回実施され、合計  
一六社、一二五名が出席、受講しました。  
今年度の研修会は、北海道電力(株)函館支店販売グ  
ループより、本年七月から低圧自由料金メニューの電  
設申込がインターネットで受付可能になることが説明  
されたほか、北海道電力(株)送配電カンパニー函館支店  
お客さまサービスグループより臨時定期制(未計器)  
契約の撤去時における連絡の徹底の依頼、同配電グ  
ループよりスマートメーターセキュリティ確保などの  
スマートメーター関連周知事項や電設工事申込書類に  
ついての留意事項が説明されました。

特に配電グループ関連ではN・T・T柱間に共架金物が設置済で、その間にメッセンジャーワイヤーが施設されている場合、メッセンジャー施工認定会社(低圧Ⅱ・高圧Ⅱ認定)でなくとも、計測器しか施工できない低圧Ⅲを除く施工会社認定(低圧Ⅰ・高圧Ⅰ認定)で、高所作業車を保有していれば施工が可能であることも周知されました。以後同種の工事現場があった際には引込工事実施承認書及び引込マークカードを提出することにより引込以下にて施工可能となりますので、宜しくお願いいたします。ただし、メッセンジャーワイヤーを新規に施設しなければならない場合は、メッセンジャー施工認定会社でなければ施工できませんので、留意願います。

また、電設工事申込書類関連については、工事届、しゅん工調査票の記載漏れや誤りが多くみられることから、基本的な内容ではありますが、改めて周知されました。特に工事届の記載については、北電のマニュアルで規定されているほか、電気工業法に規定されている内容でもありますので、工事会社が記載すべき工事届の太枠内の記載は漏れの無いよう改めましてお願いいたします。また、しゅん工調査票についても記載の誤りが多数見受けられるとのことでしたので、施工した工事内容としゅん工調査票を吟味し正確なチェックとその徹底をお願いいたします。

研修会の出席状況は各社一〜二名でありましたので、このたび配布した資料や研修会の説明内容については職場内にて広く周知してくださいませようお願いいたします。今回の研修内容で特に販売グループより説明された、電設申込のインターネット受付開始については、現時点で詳細は決定していないとのことでしたが、詳細が決定し次第組合員の皆さまへ説明する機会を設ける必要があると考えています。

最後に、北海道電力(株)函館支社、北海道電力(株)送配電カンパニー函館支店講師の皆様には大変ご多用のところご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



# 青年部活動報告

第二回電気工事技能競技大会  
 第三回全国青年部会員大会  
 青年部研修旅行

日時 平成三十年十一月三十日(金)〜十二月二日(日)  
 場所 両国技館(競技大会)  
 東京お台場TFFホール一〇〇〇(会員大会)  
 東京神奈川各所(研修旅行)

参加者 十四名

近年、青年部研修旅行は三年毎に開催していたのですが、今年度は東京で全国技能競技大会と全国青年部会員大会が開催されることと、ということで一年早めて実施することとしました。

行程一日目、羽田空港から早速両国国技館へ。時間の都合上技能大会は最後の部分しか見学できませんでしたが、一般の部・女性の部・高校生の部の三部門の作品がズラッと並んでいる光景は圧巻の一言でした。全国から集まった腕に自信のある猛者の方々の作品はどれも見事なもので、大会に向けて一生懸命練習してきた努力と熱意が感じられるものばかりでした。作品公開後、結果発表となり、北海道からの出場者が銀賞・銅賞を受賞したことはとても喜ばしいこと



でした。いつか函館からもこのような人材が出てくれればとも感じたものです。

競技大会会場を後にし、両国から近いこともありスカイツリー・浅草寺周辺・アメ横を各々観光。夕食は全員で両国のちゃんこ料理に舌鼓を打ち、その後は皆々眠らない街東京の夜を満喫したようでした。

二日目、会場をお台場に移しての青年部会員大会へ参加。今年度は全日青年部が創立二十周年ということもあり、第一部では記念式典が執り行われ、歴代会長への感謝状の贈呈・全日電工連会長より部旗の贈呈がされました。第二部の青年部優良活動発表会では、全国より選りすぐられた十活動の発表が行われ全国から参加された青年部員への今後の活動のヒントになったのではないのでしょうか。最優秀賞は福岡県となり、北海道からは札幌の活動事業が二部門で賞を受賞いたしました。詳細については全日電工連のホームページや機関誌等をご覧になって頂ければと思います。

第三部では「認知」「定着」をテーマとしたテーブルディスカッションが行われ、各テーブルとも熱い議論が展開されておりました。第四部では懇親会とともに作業着フアツションショーも開催され、函館からは鶴詩・佐藤雄亮の二名が参加。颯爽とランウェイを歩く姿はとても素晴らしい物でした。長時間にわたる会員大会でしたが、全国の青年部と交流をするという貴重な体験はこれからの青年部活動に役立つものを多く見ることでできたのではないのでしょうか。

三日目はバスにて鎌倉散策と横浜中華



第3回 電気工事技能競技全国大会

街での昼食。両国から鎌倉方面への移動は渋滞が心配でしたが遭遇することもなく楽しく散策することができました。

二泊三日の行程でしたが参加者はそれぞれ貴重な体験をされたと思います。これからも研修旅行を企画・催行していきますのでお仕事等忙しいとは思いますが、部員の方々には是非参加して頂きたいと思えます。

青年部副部長 (株)平松電気工務所 大谷 悟



### 北海道電気工業組合 青年部連合会 第八回会員大会参加並びに 創立三十周年記念式典

日時 平成三十一年二月十六日(土)  
場所 札幌プリンスホテル国際館パミール  
参加者 大鎌部長、大谷副部長、石塚理事、中野相談役、加我部員、古川部員、佐藤部員、佐々木部員 計八名

例年開催されている全道会員大会も八回目を数え、さらに今年度は道工組青年部連合会が創立三十周年を迎える年となりました。例年ですと役員を中心にしたメンバーで参加していましたが、今年度は将来を見据え、道工組青年部連合会や函館以外の各支部がどのような活動を行っているかを少しでも知っても

らい、また各支部の部員の方々と交流を深めてもらいたいと考え四名の一般部員に参加して頂きました。

今回の会員大会・記念式典・祝賀会にはほくでん役員の方々をはじめ、道工組役員・全日電工連青年部協議会役員・青年部OB会の方々・全道各地の青年部員と多くの方々が参加されました。

第一部として第八回会員大会が「がむしゃら！青年部」～未来に踏み出す確かな一歩～をテーマとして開催され、本年度は各支部による事業活動報告が各単協より四分間の持ち時間で行われました。最優秀賞を決めるということもあり、各支部とも工夫を凝らしたスライドショーを作成し素晴らしいプレゼンをされ、様々な活動を行っていることを知ることができ大変勉強になりました。函館からは大レクリエーション大会についての発表を行わせていただきました。因みに最優秀賞は十勝支部が受賞いたしました。

第二部は三十周年記念式典が行われ、歴代会長の方々の功績をたたえ感謝状の贈呈・三十周年記念事業のプロモーション動画の一部分の紹介・道工組青年部連合会旗のお披露目がされました。第三部では三十周年記念祝賀会が執り行われ、鏡開



きを皮切りにプロモーション動画の全編公開・よさこいソーラン舞踏等様々な趣向を凝らした催し物が行われました。また、全道、全国の青年部の仲間達と更なる交流を深めることができたと幸いです。

今回の大会・祝賀会を開催するにあたり道工組青年部連合会役員の方々は大変苦労したのではないかと思います。しかしその苦労と絶対成功させるという固い意志が今回の大会・式典を大変素晴らしい物にしたのではないかと思います。また記念事業として作成されたプロモーション動画は全編公開後青年部員でしたら、様々な活動に使用してよいということですので、ぜひ活用して頂きたいと思います。

今後四十年五十年と



青年部活動が続いていき熱い思いがいつまでも受け継がれていけば電気工事業界もお発展していくと感じました。

以上で青年部事業活動報告とさせていただきます。

青年部副部長 榎平松電気工務所 大谷 悟

### ●今月の表紙について

#### 『棒二森屋閉店』

今年一月三十一日、永らく函館市民に愛された棒二森屋が借しまれつつも閉店しました。

その誕生は、大分県出身の渡辺熊四郎が明治二年（一八六九年）、函館市大町で北海道初の洋品店として創業した金森洋物店と、滋賀県出身の荻野儀平が明治十五年（一八八二年）、上磯町で創業した棒二荻野商店が昭和十一年（一九三六年）にライバル関係にありながらも合併し、株式会社棒二森屋として設立したことによりです。そのため、棒二森屋という名称は二つの企業名を組み合わせたものということになります。屋号として使われた「森屋」は、金森洋物店の創業者、渡辺熊四郎が奉公していた長崎の葉問屋「森屋渡辺商店」に由来しているようです。大分県出身の渡辺熊四郎はやがて同店の養子となり、縁あって文久三年（一九六三年）函館へ渡り、店を開くに至りました。渡辺熊四郎はこうした恩義の忘れないよう「森屋」という名前を掲げたものと思われまます。また、渡辺熊四郎は、その後函館港に面した場所で倉庫業を始めます。これが「金森赤レンガ倉庫」の始まりで、渡辺熊四郎は小売業では棒二森屋を誕生させ、倉庫業では金森赤レンガ倉庫を生み出し、その倉庫群は今現在も続く函館の代表的な観光スポットとなりました。

看板に記されたひらがなの「い」のような独特なマークは、棒二荻野商店の荻野儀平とその息子で家督を継ぎ、後に株式会社棒二森屋の初代社長となる荻野清六が近江商人であったことに由来するようです。近江商人は、天秤棒に商品を担いで行商するスタイルを商売の基本としており、「天秤棒一本で財を成す」と称されました。実際には予備としてもう一本を持ち歩いており、普段は杖の代わりにして使っていたように

す。荻野清六は遠く離れた北海道の地においても近江商人の精神を忘れることの無いよう、この天秤棒二本をこの独特なマークの意味に込めたのではないかと考えています。

合併の翌年、昭和十二年（一九三七年）に現在の場所（函館市若松町十七・十二）に落成して営業を開始し、渡辺熊四郎が開業してから数えると一五〇年の永きに渡って函館駅前には有り、一時代を築いた棒二森屋の看板が撤去される前に伊東照勝理事に撮影していただきました。

### 編集後記

今年は昨年と比べて雪も少なく、暖かい日々が続いてもう春が来たような毎日を過ごしております。毎年春の訪れを感じさせるのが、卒業式や春の高校野球ですが、NHK朝の連続テレビ小説の交代もその一つです。昨年十月より「まんぶく」が放映されています。モデルとされるのは、日清食品創業者・安藤百福氏とその妻・仁子さんです。ドラマでは脱税容疑での拘留所収容、信用組合理事長の就任解任、一九五八年発売の「チキンラーメン」の誕生までの苦労や会社設立、一九七一年の「カップヌードル」発売など、ほぼ史実に基づいて制作されており、それも二十%を超える高視聴率の番組になっている要因だと思えます。コンビニの大部分を占めるカップ麺、手軽に食べられるカップ麺、安藤百福氏に感謝です。いままで日清食品グループと関わっていた日清製粉、日清オイロオは過去も現在も資本・人材も含め一切無関係な事を今回初めて知りました。四月一日より朝ドラ「〇〇」作目の北海道ロケの「なつぞら」がスタートします。北海道の観光客が増える事を期待しながら楽しみにしたいと思います。

題字 小寺寛一(第二代理事長)

(T・O)

発行所 函館地方電気工事協同組合  
編集 総務委員会  
住所 函館市日乃出町7番22号  
印刷所 龍文堂印刷株式会社



**河村電器産業株式会社**  
北海道支店 函館営業所

北海道支店 003-0006  
TEL (011) 822-1100  
FAX (011) 822-1050

函館市本町六十五 富士火災函館ビル三階  
TEL (0133) 331-7436  
FAX (0133) 331-7437

札幌市白石区東札幌六条二丁目二一三〇  
札幌三信物流ビル四階  
TEL (011) 822-1100  
FAX (011) 822-1050



**大光電機株式会社**  
函館事務所

札幌支店 064-0804  
TEL (011) 561-1806  
FAX (011) 551-9709

函館事務所 042-0943  
TEL (0133) 841-6450  
FAX (0133) 841-6785

札幌市中央区南四条西一丁目一  
TEL (011) 561-1806  
FAX (011) 551-9709

函館市乃木町二丁目パレシヤル九七階  
TEL (0133) 841-6450  
FAX (0133) 841-6785

人とあかりの調和を考える



**パナソニック(株)エレクトロニクス**  
北海道電材営業所 函館電材出張所

041-0808  
TEL (0133) 471-6333  
FAX (0133) 471-6266

函館市桔梗二丁目二四一六  
TEL (0133) 471-6333  
FAX (0133) 471-6266

あしたの光で“ごちようい”を創ります。

**東芝ライテック株式会社**  
北海道営業部 函館営業所

040-0001  
TEL (0133) 511-6002  
FAX (0133) 511-6024

函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル三階



**新光照明株式会社**  
電設資材総合卸

040-0024  
TEL (0133) 551-0613  
FAX (0133) 551-0610

007-0812  
TEL (011) 790-1253  
FAX (011) 790-1253

函館市高盛町七番一  
TEL (0133) 551-0613  
FAX (0133) 551-0610

札幌市東区東苗穂十二条三丁目十九番八号  
TEL (011) 790-1253  
FAX (011) 790-1253



**田中商事株式会社**  
函館営業所

040-0072  
TEL (0133) 401-0800

本社・東京 営業所・札幌、札幌東、釧路

情報社会をパフォーマンスする

未来環境を語る・造る

**株式会社 工三ヤ**  
函館営業所

041-0824  
TEL (0133) 481-5751 (代表)  
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽

函館市西桔梗町五八九一四九  
TEL (0133) 481-5751 (代表)  
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽



**石垣電材株式会社**  
ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス

本社 060-0006  
TEL (011) 210-5221

函館支店 041-0824  
TEL (0133) 491-6211  
FAX (0133) 491-6215

八雲営業所 049-3104  
TEL (0137) 631-3269

札幌市中央区北六条西一丁目一番地  
TEL (011) 210-5221

函館市西桔梗町五八九番地三二五  
TEL (0133) 491-6211  
FAX (0133) 491-6215

北海道八雲町内浦町二三四一五  
TEL (0137) 631-3269